

データの活用 No.1

組 番 氏名 教師用

1 復習問題（個人→周囲→一斉）

下の表は、A国とB国に住む5人それぞれに月の収入を聞いて、表にまとめたものです。あなたはこの表から、A国とB国のどちらが経済的に豊かな国であると考えますか？

A国	B国
18万円	0円
23万円	0円
17万円	100万円
22万円	0円
20万円	0円

豊かだと思える国： _____ 国

理由



左の写真は、南アフリカ共和国のダーバンという地区。中央に大型商業施設、左には立派な屋根の住宅街、右下にはゴルフ場があります。

一方、右側に見える無数の小さな四角は、粗末な造りのブリキ小屋です。

※ Google Earth より

これまで、資料（データ）の様子を調べたり、比較したりするとき、主に平均値や合計値を使ってきました。しかし、平均値や合計値だけでは実態をうまく読み取ることができない場合があるようです。この章では、資料を整理し、平均値や合計値以外の方法も使って、様々な角度からより詳しく資料の様子を読み取ることについて考えていきます。

2 ある学校のA組とB組の生徒が同じ数学のテストを受けました。下の資料はその得点の一覧表です。この資料をもとに、どちらが数学の得意なクラスと言えるのかを決めるとき、どのようにして比較すればよいだろう？（個人 or 周囲→一斉）

A組	92	40	71	60	50	83	70	60	50	39
	40	37	50	68	70	31	44	36	90	59
B組	85	30	52	76	61	50	73	59	95	77
	55	50	64	55	78					

今日のめあて

A組とB組それぞれの資料（データ）を表に整理して、比較しやすくしよう。

データの活用 No.1

組 番 氏名 教師用

③ 用語の確認（一斉）

- 度数分布表 … 資料をいくつかの階級に分けて、階級ごとの度数をまとめた表
- 階級 … 資料を整理するため等間隔に設定した区間
- 階級の幅 … 設定した区間の幅
- 階級値 … 設定した区間の真ん中の値
- 度数 … それぞれの階級に入っている資料の個数
- 累積度数 … その階級までの度数を合計した値

※ 度数分布表を使って資料を整理すると、それぞれの階級にどれだけの資料があるのか（資料の分布）が一目でわかるから、資料同士を比較しやすくなります。

④ A組とB組の資料をそれぞれ度数分布表に整理してみよう。（個人→周囲→一斉）

A組	92	40	71	60	50	83	70	60	50	39
	40	37	50	68	70	31	44	36	90	59
B組	85	30	52	76	61	50	73	59	95	77
	55	50	64	55	78	A組とB組を合わせた35人の平均点は60点				

階級（点）	A組		B組	
	度数（人）	累積度数（人）	度数（人）	累積度数（人）
20以上40未満	4	4	1	1
40～60	7	11	6	7
60～80	6	17	6	13
80～100	3	20	2	15
合計	20		15	

問：「A組とB組の60点以上の人数を比較するとA組の方が多いから、B組よりもA組の方が数学の得意なクラスと言えるね！」という分析は正しいだろうか？

あなたの考え

例) 正しいとは言えない。なぜなら、そもそもクラス的人数が異なるので、単純に度数の大小だけで比較することができないから。

※ A組の40点未満の人数が多いことなど、平均点だけでは読み取れなかった情報があることにも注目。

振り返り（わかったこと・わからなかったこと・考えたことなど）

今日の理解度： A B C （振り返りが終わったら、予習 → 問題集）

次回の授業では、全体の度数が異なる資料の比較方法について考えます。（電卓使用）

データの活用 No.1

組 番 氏名

1 復習問題

下の表は、A国とB国に住む5人それぞれに月の収入を聞いて、表にまとめたものです。あなたはこの表から、A国とB国のどちらが経済的に豊かな国であると考えますか？

A国	B国
18万円	0円
23万円	0円
17万円	100万円
22万円	0円
20万円	0円

豊かだと思う国： _____ 国

理由



左の写真は、南アフリカ共和国のダーバンという地区。中央に大型商業施設、左には立派な屋根の住宅街、右下にはゴルフ場があります。

一方、右側に見える無数の小さな四角は、粗末な造りのブリキ小屋です。

※ Google Earth より

これまで、資料（データ）の様子を調べたり、比較したりするとき、主に平均値や合計値を使ってきました。しかし、平均値や合計値だけでは実態をうまく読み取ることができない場合があるようです。この章では、資料を整理し、平均値や合計値以外の方法も使って、様々な角度からより詳しく資料の様子を読み取ることについて考えていきます。

2 ある学校のA組とB組の生徒が同じ数学のテストを受けました。下の資料はその得点の一覧表です。この資料をもとに、どちらが数学の得意なクラスと言えるのかを決めるとき、どのようにして比較すればよいだろう？

A組	92	40	71	60	50	83	70	60	50	39
	40	37	50	68	70	31	44	36	90	59
B組	85	30	52	76	61	50	73	59	95	77
	55	50	64	55	78					

今日のめあて

データの活用 No.1

組 番 氏名

③ 用語の確認

- _____ … 資料をいくつかの階級に分けて、階級ごとの度数をまとめた表
- _____ … 資料を整理するため等間隔に設定した区間
- _____ … 設定した区間の幅
- _____ … 設定した区間の真ん中の値
- _____ … それぞれの階級に入っている資料の個数
- _____ … その階級までの度数を合計した値

※ 度数分布表を使って資料を整理すると、それぞれの階級にどれだけの資料があるのか（資料の分布）が一目でわかるから、資料同士を比較しやすくなります。

④ A組とB組の資料をそれぞれ度数分布表に整理してみよう。

A組	92	40	71	60	50	83	70	60	50	39
	40	37	50	68	70	31	44	36	90	59
B組	85	30	52	76	61	50	73	59	95	77
	55	50	64	55	78	A組とB組を合わせた35人の平均点は60点				

階級（点）	A組		B組	
	度数（人）	累積度数（人）	度数（人）	累積度数（人）
20以上40未満	4	4		
40～60	7	11		
60～80	6			
80～100				
合計	20			

問：「A組とB組の60点以上の人数を比較するとA組の方が多いから、B組よりもA組の方が数学の得意なクラスと言えるね！」という分析は正しいだろうか？

あなたの考え

振り返り（わかったこと・わからなかったこと・考えたことなど）

今日の理解度： A B C （振り返りが終わったら、予習 → 問題集）

次回の授業では、全体の度数が異なる資料の比較方法について考えます。（電卓使用）